

小児等在宅医療連携拠点事業 概要

【本県の課題】

医療技術の発達により、新生児が出産直後に死亡するケースが減り、NICUの長期入院児(1年以上入院)は増加している。また、地域では受入にあたり、医師や看護師、介護者の医療的ケアに対する経験不足や緊急時等の連携体制に不安がある。

【事業目的】

NICUを退院し、医療的ケアを必要とする児を保健、医療・福祉・教育・行政が連携をして、地域で支えていく体制をつくること

【小児等在宅医療を進めるための2つの柱】

- ① 横須賀地域をモデル地域とした取組み ② こども医療センターによる全県的な支援

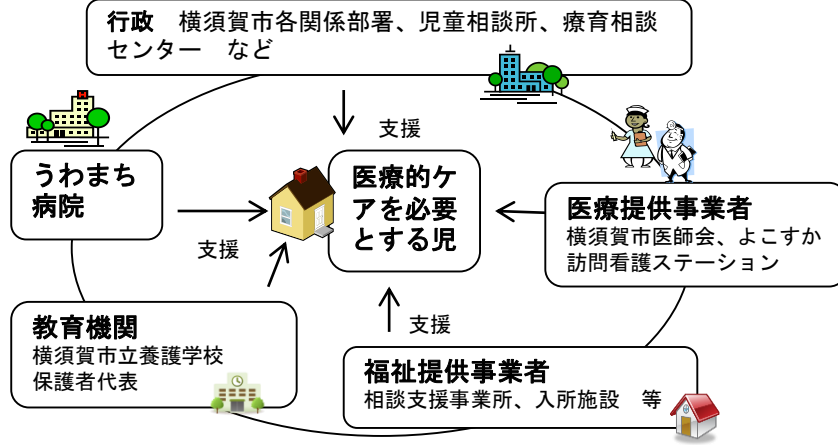
【事業イメージ】



令和元年度モデル事業実施地域

<横須賀地域モデル事業>

・横須賀地域小児等在宅医療連絡会議による課題の抽出・課題解決に向けた取組み



県内各地域

<過去のモデル事業実施地域>

- ① 茅ヶ崎地域、② 小田原地域、③ 厚木地域

<医療的ケア児の支援に係る市町村意見交換会>

- 県内全市町村を対象
- ・ 先進事例共有
- ・ 県実施事業の説明
- ・ 県及び市町村間での情報・意見交換



小児等在宅医療連携拠点事業 取組状況一覧

1. モデル事業の取組

- 平成26年度～27年度 茅ヶ崎地域
- 平成28年度～29年度 小田原地域・厚木地域
- 平成30年～令和元年度 横須賀地域

地域でのサポート体制
づくりを支援

2. 医療的ケア児の支援に関する市町村意見交換会

- 「医療的ケア児の支援に関する意見交換会」を市町村の障害福祉主管課中心に呼びかけ、実施。

3. 小児在宅医療患者の実態調査

- 在宅医療指導管理料から、医療機関側から実数調査を実施。

4. 支援者向け相談窓口

- 看護師を配置した相談窓口を設置し、患者・家族、学校、関係機関等からの相談対応や情報提供を実施。

5. 医療ケア研修

- 地域の開業医等を対象とした地域医療支援事業研修会の実施。
- 医師・看護師・介護職等を対象とした医療ケア実技研修の実施。

こども医療センターを中心に実施

6. その他

- 県内市町村の医療的ケア児に関する問合せ窓口一覧の掲載
- 医療的ケア児の地域支援体制構築に係る担当者合同会議(国)